

執筆者紹介

北川 亘 太	関西大学経済学部准教授
古松 丈 周	旭川大学経済学部教授
佐藤 方 宣	関西大学経済学部教授
高橋 聡	明治大学政治経済学部専任講師
中澤 信 彦	関西大学経済学部教授
中山智香子	東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
松本 哲 人	北海道教育大学教育学部准教授
百木 漠	関西大学法学部准教授
吉野 裕 介	関西大学経済学部准教授
若森みどり	大阪市立大学経済学研究科教授
壽里 竜	慶應義塾大学経済学部教授
後藤 浩 子	法政大学経済学部教授
橋本 恭 之	関西大学経済学部教授
檜原 正 澄	関西大学名誉教授
赤井 洋 子	学校給食・食文化研究会会員
石川 友 美	近畿大学非常勤講師
伊藤佳代子	元・豊中市栄養職員
佐保 庚 生	元・農林水産省職員
辰己 住 子	近畿大学非常勤講師
森 正 子	元・岸和田市学校給食調理員

教 授

ご活躍の足跡
(2021年1月～12月)

宇都宮 浄人

著 書

- (1)『脱炭素社会に向けた都市交通政策の展開』勁草書房、6月刊（秋山孝正編、共著）。

論 文

- (1)「MaaSの時代の交通まちづくり」『ていくおふ』第162号、ANA 総合研究所、4-11頁、1月刊。
 (2)「都市と公共交通の統合的政策のために～公共交通に PSO 制度の導入を～」『新都市』都市計画協会第75巻第2号、16-21頁、2月刊。
 (3)「沿線住民の鉄道事業に対する期待と満足」（三古展弘・毛海千佳子と共著）『交通学研究』第64号、59-66頁、3月刊。
 (4)「東日本大震災被災地の自動車保有状況の変化とその背景」（柴山多佳児・藤田知也と共著）『土木学会論文集 D3（土木計画学）』第76巻第5号、689-698頁、4月刊。
 (5)「差別運賃」『交通時評』No. 433、1-3頁、5月刊。
 (6)「公共サービスとしての都市地域交通— PSO 制度導入に向けて—」『都市と公共交通』第45号、大阪公共交通研究所、3-8頁、6月刊。
 (7)「LRT による持続可能なまちづくり—オランダと日本の経験を踏まえて」（Rob van der Bijl、Niels van Oort との共著）『交通と統計』第64号、交通統計研究所、48-63頁、7月刊。
 (8)「LRT 再考—オーストリアの事例分析を踏まえて」『同志社商学』第73巻第2号、107-127頁、9月刊。
 (9)「脱炭素社会に向けた交通政策とまちづくり」『国際文化研修』第119号、全国市町村国際文化研修所、42-45頁、10月刊。

書 評

- (1) 富山新聞社報道局編『わが列車わが鉄路』（北國新聞社 2021年）北國新聞2021年11月14日朝刊、10面、11月刊。

学会・研究会

- (1)「地域公共交通の統合的政策：日欧比較からみえる新時代」阪大地域づくり懇話会、オンライン、2月24日。
 (2)「交通まちづくり～QOLの高い地域をめざして」ITSJapan コミュニティプラザ、オンライン、3月11日。
 (3)「地域公共交通とソーシャル・キャピタル」日本社会関係学会、オンライン、3月20日。
 (4)「地域公共交通とソーシャル・キャピタル」ソーシャル・キャピタル研究会、オンライン、4月21日。
 (5)「地域公共交通における官民役割分担の再定義～欧州の実例を踏まえて～」EY セミナー、オンライン、6月25日。
 (6)「地域公共交通の統合的政策：日欧比較からみえる新時代」日本交通学会関西部会、中央電気倶楽部、7月2日。
 (7)「地域公共交通の統合的政策：日欧比較からみえる新時代」国立国会図書館、脱炭素社会の技術と諸課題、オンライン、8月10日。
 (8)「地域公共交通の統合的政策を実現するために」土木学会、土木計画学研究委員会、研究小委員会委員会、オンライン、9月7日。
 (9)「脱炭素社会の公共交通政策・地方圏の鉄道の役割と課題」日本交通政策研究会、中央電気倶楽部、10月30日。

講演会

- (1)「地域公共交通の統合的政策」国土交通大学校令和2年度 総合課程 係長級研修、オンライン、1月14日。
- (2)「新交通システムのまちづくりへの効果を考える」令和3年度金沢都市圏新交通導入議員連盟総会、金沢市役所、5月10日。
- (3)「地域公共交通の制度改革の方向性—官民の役割分担再考—」第10階人と環境にやさしい交通をめざす大会 in 滋賀、オンライン、7月17日。
- (4)「地域公共交通の統合的政策」第2回国土交通大学校小平校ウェブフォーラム、国土交通大学校、8月18日。
- (5)「地域公共交通政策の課題～脱炭素社会とQOLの向上をめざして」福井県議会議員研修会、福井県議会、8月23日。
- (6)「『交通まちづくり』の新展開～コンパクトシティ・MaaS・統合的政策」内外情勢調査会・佐世保支部講演会、セントラルホテル佐世保、9月21日。
- (7)「『交通まちづくり』の新展開～コンパクトシティ・MaaS・統合的政策」内外情勢調査会・長崎県央支部講演会、ホテルグランドパレス諫早、9月21日。
- (8)「『交通まちづくり』の新展開～コンパクトシティ・MaaS・統合的政策」内外情勢調査会・長崎支部講演会、ホテルニュー長崎、9月22日。
- (9)「交通まちづくりでリバース～欧州の実例を踏まえて～」上田リバース会議、上田駅前パレオ、11月19日。

大西 靖**分担執筆**

- (1)「ESG評価のための情報開示の展開」中尾悠利子編著『AI技術の活用によるESG情報の評価に関する研究』第5章、日本会計研究学会スタディ・グループ中間報告書、55-67ページ、9月刊。(共著)

学会・研究会

- (1)「国際学術雑誌の潮流からみたわが国マネジメント・コントロール研究の特徴」日本管理会計学会2021年度年次全国大会自由論題報告、長崎県立大学（オンライン開催）、8月28日。(共同報告)
- (2)「AI技術の活用によるESG情報の評価に関する研究」日本会計研究学会第80回全国大会スタディ・グループ中間報告（中尾悠利子主査）、九州大学（オンライン開催）、9月9日。(共同報告)

甲斐 成章**分担執筆**

- (1)「重化学工業—傾斜的工業化政策とその評価」中兼和津次編著『毛沢東時代の経済』第7章、名古屋大学出版会、177-206ページ、7月刊。

論文

- (1)「習時代の国有企業改革の制度デザイン：混合所有制はどう推進されるのか」『関西大学経済論集』第70巻第4号、121-143ページ、3月刊。

北原 聡**資料・その他**

- (1)「道路」『社会経済史学事典』、社会経済史学会、386-387ページ、7月刊。
- (2)「明治前期の交通インフラ—道路・港湾・河川」平井健介他編著『ハンドブック日本経済史』、

ミネルヴァ書房、92-95ページ、12月刊。

神江 沙蘭

分担執筆

- (1)「ユーロ危機と銀行同盟」伊藤武・網谷龍介編著『ヨーロッパ・デモクラシーの論点』第八章、ナカニシヤ出版社、153-172ページ、2月刊。[研]

学会・研究会

- (1)“Much Ado about Price Competitiveness?: Diverging Growth Strategies in Times of Crisis in Germany and Japan” (co-authored) *Society for the Advancement of Socio-Economics*, オンライン、7月5日。[研]
- (2)「ブレグジットとEU金融市場政策の再形成」日本EU学会（公開シンポジウム）、オンライン、11月7日。[研]

後藤 健太

分担執筆

- (1)「コロナ禍におけるアジアの労働市場とインフォーマル経済」『アジア太平洋と関西—関西経済白書〈2021〉』（編集委員）アジア太平洋研究所、53-59頁、2021年10月刊。
- (2)“Impacts of the Coronavirus Pandemic on the Asian Economy and Global Value Chains” in *Kansai and the Asia Pacific: Economic Outlook 2020-2021* (Associate Editor), Osaka: Asia Pacific Institute of Research, pp.56-69, April 2021.

学会・研究会

- (1)「これからの途上国の産業開発を考える」GRIPS開発フォーラム・JICA 緒方研究所 連携企画「工業化過程における縫製輸出の現在と将来：3ヶ国調査」コメンテーター、9月29日。
- (2)基調報告（オンライン）「アジア経済とは何か—接続性と新しいダイナミズム—」、比較経済体制研究会第40回年次研究大会、8月28日。

講演会

- (1)『アジア開発史』日本語出版記念オンライン・トーク・セッション（パネリスト）、アジア開発銀行（ADB）、9月27日。
- (2)「グローバル化時代のSDGs実践入門」、日本フォーラムスチレン工業組合講演（オンライン）、9月10日。
- (3)「地球環境とSDGsの実践に向けて」株式会社エネゲート、6月4日。
- (4)“The Asian Economy, the post-corona world, and SDGs” Kankeiren ASEAN Management Seminar, Online Reunion（オンライン）、3月26日。
- (5)“Introduction to Global Value Chains.” ASEAN Japan Centre.Seminar on how Lao MSMEs can capitalize on Value Chains. (CLMV 諸国におけるビジネス連携モデル構築のための支援プログラム、オンライン）、2月16日。

佐々木保幸

論文

- (1)「フランスにおけるコメルス・アソシエの発展と現状」『関西大学経済論集』第70巻第4号、15-27ページ、3月刊。
- (2)「EC小売業の成長と流通政策」『中小商工業研究』第149号、全商連付属・中小商工業研究所、10-19ページ、10月刊。
- (3)「日本の流通産業と『ネット通販』」『経済』11月号、新日本出版社、74-84ページ、10月刊。

資料・その他

- (1)「日本の産業の課題を考える 5つの問いかけ」『経済』12月号、新日本出版社、12-13、23、31、33ページ、11月刊。

学会・研究会

- (1)「コロナ・パンデミックと今日の流通～フランスの小売商業政策をふまえて」日本流通学会第78回全国大会統一論題報告、愛知工業大学（リモート開催）10月23日。

佐藤 方宣**分担執筆**

- (1)“Frank Knight on Self-interest”, Susumu Egashira, Masanori Taishido, D. Wade Hands, Uskali Mäki (eds.) *A Genealogy of Self-Interest in Economics*, Springer, pp.189-201, March.

資料・その他

- (1)「民間企業が担う公共性（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、1月。
 (2)「公衆衛生と社会生活の維持（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、5月。
 (3)「ワクチン接種と実質的な公平性（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、6月。
 (4)「自己責任論と運（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、8月。
 (5)「魅力度ランキングへの反発（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、10月。
 (6)「子育て支援か景気対策か（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、12月。

翻 訳

- (1)フランク・ナイト著、桂木隆夫・佐藤方宣・太子堂正称（共訳）『リスク、不確実性、利潤』筑摩書房、8月刊。

学会・研究会

- (1)「1970-1980年代日本の経済学方法論」経済学史学会関西部会、オンライン開催、12月12日。

新熊 隆嘉**論 文**

- (1)Takayoshi Shinkuma and Hajime Sugeta (2021) Trial runs as environmental policy with strategic firms, *Environmental Economics and Policy Studies*, forthcoming.

学会・研究会

- (1)Takayoshi Shinkuma, Akira Hibiki and Eiji Sawada, Optimal Inspection under Moral Hazard and Limited Liability of Polluter, 環境経済・政策学会2021年大会、オンライン、9月25日。
 (2)石村雄一、新熊隆嘉、竹内憲司、細田衛士、食品ロス削減計画の策定はごみ減量化にどのような影響を与えるのか？、第32回廃棄物資源循環学会 研究発表会、岡山コンベンションセンター、10月25日。

鈴木 智也**論 文**

- (1)“Basic income, wealth inequality and welfare: A proposed case in New Zealand.” *Economic Analysis and Policy*, Volume 72, pp.118-128.

中川 竜一
論文

- (1)「Bank Herding in Loan Markets: Evidence from Geographical Data in Japan」『International Review of Finance』2021年、pp.1-18.

中澤 信彦
論文

- (1)Milton's *Paradise Lost* and Malthus's *An Essay on the Principle of Population*: A Neglected Intertextuality (with Yoshifumi Ozawa), *History of Economics Review*, Volume 80, Number 1, The History of Economic Thought Society of Australia, Taylor and Francis, pp.74-84, December.

書評

- (1)松元雅和・井上彰編『人口問題の正義論』（世界思想社、2019年）『マルサス学会年報』第30号、マルサス学会、125-130ページ、3月刊。

学会・研究会

- (1)「マルサスとロック」経済学史学会東北部会第42回例会、Zoomによるオンライン、5月29日。
 (2)「マルサス経済学の知性史的文脈——ロックの認識論から『人口論』へ、そして『経済学原理』へ——」マルサス学会第30回大会、Zoomによるオンライン、7月3日。
 (3)「人間本性・共感・習俗——バーク『崇高と美の探究』の社会思想——」日本イギリス哲学会関東部会第108回研究例会、Zoomによるオンライン、12月11日。
 (4)「マンチェスター期エンゲルスのマルサス批判——マルクス主義におけるマルサス批判の始源を探る——」経済学史学会関西部会第180回例会、Zoomによるオンライン、12月12日。
 (5)「マルサス経済学の知性史的文脈——ロックの認識論から『人口論』へ、そして『経済学原理』へ——」経済学方法論フォーラム、Zoomによるオンライン、12月19日。
 (6)「マンチェスター期エンゲルスのマルサス批判——マルクス主義におけるマルサス批判の始源を探る——」経済思想研究会、Zoomによるオンライン、12月26日。

橋本 恭之
論文

- (1)「ふるさと納税制度の見直しの影響について」『関西大学経済論集』第70巻第4号、pp.557-571。

書評

- (1)「[新刊紹介] 本間正明著『日本の財政学：受難と挑戦の軌跡』」『関西大学経済論集』第71巻第1号、pp.35-43。

学会・研究会

- (1)「所得再分配とふるさと納税」日本財政学会第78回大会、2021年10月23日。

橋本 紀子
研究ノート

- (1)「これからの文化需要を巡って——コロナ禍の影響と地域による違い——」『関西大学経済論集』第71巻第2,3合併号、関西大学経済学会、47-69ページ、12月刊。

林 宏昭
論文

- (1)「個人住民税の課題とあり方」『税研』第36巻第5号、日本税務研究センター、39-46ページ、1月刊。

- (2)「地方分権と地方税」『地方税』第72巻第7号、地方財務協会、2-8ページ、7月刊。
- (3)「これからの所得控除を考える」『租税研究』第863号、日本租税研究協会、4-28ページ、9月刊。
- (4)「地域経済と公の役割」『地方財政』第60巻第11号、地方財務協会、4-12ページ、11月刊。

良永 康平**論 文**

- (1)「フードシステムの環境負荷分析－2000-2011年接続産業連関表によるアプローチ」『経済論集』第70巻第4号、関西大学経済学会、73-97ページ、3月刊。

准教授

ご活躍の足跡
(2021年1月～12月)

岡田 啓介

論文

- (1) "The impact of trade liberalization on productivity distribution under the presence of technology diffusion and innovation" *Journal of International Economics*, 128, 103396, January 2021 (co-authored with Keiichi Kishi).
- (2) "Oil bonanza and the composition of government expenditure" *Economics of Governance*, 22 (1), 23-46, March 2021 (co-authored with Sovannroeun Samreth).
- (3) "On the two catching-up mechanisms in Asian development" *Asian Development Review*, 38 (2), 31-57, September 2021 (co-authored with Takuma Kunieda, Yasuyuki Sawada, and Akihisa Shibata).

岡野 芳隆

論文

- (1) "Voluntary Redistribution Mechanism in Asymmetric Coordination Games," *Experimental Economics*, forthcoming (co-authored with Masaki Aoyagi and Naoko Nishimura)

柏原 宏紀

論文

- (1) 「大久保利通の内務・工部省合併案に関する一考察」『法学研究』第94巻第11号、慶應義塾大学法学研究会、105-135ページ、11月刊。

学会・研究会

- (1) 「明治新政府の一人材としての平岡通義」第56回「人材配置の経済学」研究会、Zoom、9月10日。

講演会

- (1) 「明治新政府の人事分析—制度概要とデータ構築を中心に」（小嶋健太氏と共同報告）関西大学経済・政治研究所、関西大学梅田キャンパス、6月26日。

岸 慶一

学会・研究会

- (1) 「The impact of trade liberalization on productivity distribution under the presence of technology diffusion and innovation」CIGS Virtual Macroeconomics Workshop・DSGE Workshop 共催、オンライン、7月10日。
- (2) 「The impact of trade liberalization on productivity distribution under the presence of technology diffusion and innovation」第67回 RoMacS セミナー、オンライン、9月10日。

北川 亘太

論文

- (1) "A Movement in the Traditional Japanese Confectionary Industry: Reflecting the Modern Normative Trend" (第一著者 Mihoko Morisaki との共著), *1st Croatian-Japanese Conference: Contemporary Problems in Economics*, edited by Anđelko Šimić, Mate, Zagreb, pp.59-79, 5月刊.

学会・研究会

- (1)「J.R. コモンズの実験主義的な制度再編論の検討」進化経済学会第25回静岡大会、オンライン、3月27日。
- (2)“La théorie de la valeur chez J.R. Commons” Séminaire, Valeur, prix et politique, Laboratoire IDHES, École normale supérieure Paris-Saclay (the open lecture provided as an invited professor of École normale supérieure, Paris-Saclay), 11月18日。

講演会

- (1)「変動期における制度変化論」(井澤龍との共同報告) 関西大学経済・政治研究所、第244回産業セミナー、関西大学梅田キャンパス、6月26日。
- (2)「労働組合における参加と対話」(ワークショップ)、ものづくり産業労働組合 JAM 本部、7月28日。
- (3)「労働組合における参加と対話」(講演)、ものづくり産業労働組合 JAM 本部 (オンライン)、11月15日。

小嶋 健太**学会・研究会**

- (1)“Successful Jobs and Dead-end Jobs in a Bureaucracy: Evidence from Japan,” (joint with Katsuya Takii),「人材配置の経済学」研究会、オンライン、11月6日。

講演会

- (1)「明治新政府の人事分析—制度概要とデータ構築を中心に」(柏原宏紀との共同報告)、関西大学経済・政治研究所 第244回産業セミナー、関西大学梅田キャンパス、6月26日。

西川 浩平**論文**

- (1)「動物園市場における需要関数の推定」『(摂南経済研究)』第11巻第1・2号、摂南大学経済学部、17-33ページ、3月刊。

Working Paper・Discussion Paper

- (1)「抗精神病薬市場における薬価分析」『摂南大学経済学部ワーキングペーパー』、摂南大学経済学部、3月刊。

松田 絢子**Working Paper・Discussion Paper**

- (1)「新型コロナウイルス感染症拡大時の買い占め行動と消費者トラブル—消費者教育への示唆」(共著)『消費者庁国際消費者政策研究センター リサーチ・ディスカッション・ペーパー No. 2』消費者庁、10月。

溝端 泰和**論文**

- (1)“Financial heterogeneity and the dynamics of credit rationing in Japan”, *Applied Economics*, forthcoming. [研]

Working Paper・Discussion Paper

- (1)“Do bank shocks affect physical or R&D investments more?”, available at SSRN 3911062, 2021.

学会・研究会

- (1)“Financial heterogeneity and the dynamics of credit rationing in Japan”、日本経済学会春季大会、WEB、5月15日。[研]